

〈佐呂間町民憲章〉

進んできまりを守り

明るく平和なまちをつくります

平成2年
(1990)

10



(秋祭
ばん馬レース)

非常事態！

死亡交通事故多発

呼び起こそう 交通安全意識



(資料写真)

運転を開始してからどのくらい時間が経過したところで事故が発生したかを調べると、なぜか半分以上が運転開始から三十分以内に発生しています。運転を開始してから三十分以内という、自宅などからあまり遠くないいつも通りなれた道路だと考えられ「慣れている道」といった緊張感の稀薄さが不注意につながり事故の誘因になっています。油断は禁物です！

運転開始

直後が要注意！

道内交通事故死者数が九月二十三日には、昨年より二十一日も早く五百人に達するという最悪のペースになっています。町内でも、八月十二日川西の道々で、ライトバンとトレーラーが正面衝突しライトバンを運転していた男性が死亡、原因は居眠り運転でした。この事故により、昨年六月から続いていた交通事故死ゼロも四百二十四日でストップしてしまいました。また、九月二十七日には「秋の交通安全運動」が実施されているさ中、共立の道々で、バイクが道路左端に駐車中のトラックに追突するといういたましい事故がありました。この事故は夕方薄暮時間帯で駐車中のトラックに気づくのが遅れたのが原因と見られています。これからは日没が早まることから、このような事故が起きないようにドライバー・歩行者の方は十分注意いたしましょう。

「夜光反射材」を

身につけましょう

高齢の歩行者や自転車の事故が多く発生していますが、夕方から夜間にかけての事故が特徴になっています。

その理由として、高齢者の服装が黒っぽいものが多く、運転者からの発見が遅れることが原因となっています。

夜間、服装の色によって発見のされ方がどれくらい違うかと

いうと、白っぽい服装に比べ黒っぽい服装だと十メートル以上も発見が遅れ、運転者からは三十メートル手前でやっと発見できるといふ実態です。しかし、夜光反射材ですと百メートル以上も先から自分の位置を運転手に知らせることができます。交通事故に遭わないためにもぜひ夜光反射材を身につけましょう。

遠軽管内町村別交通事故発生状況

状況 年度 町村別	発生件数		死者数		傷者数	
	2年	元年	2年	元年	2年	元年
遠 軽 町	35件	32件	3人	3人	34人	31人
上湧別町	13	11	—	2	14	9
湧 別 町	12	8	2	1	11	11
佐呂間町	18	15	1	1	17	14
生田原町	8	10	—	1	10	9
丸瀬布町	8	4	—	1	9	4
白 滝 村	3	4	1	—	4	4
合 計	97	84	7	9	99	82

平成2年8月末現在

左カーブが危ない!

は避けましょう。

カーブ事故は、スピードの出し過ぎによる対向車線へのはみ出しと路外への転落が主な原因で、遠心力に対する注意力の不足が事故につながっています。特に半分以上が左カーブでのはみ出しによる対向車との正面衝突が大惨事となっています。

カーブや曲がり角の手前では十分スピードを落とし高速のままの急ブレーキ・急ハンドル

- カーブはスローインが原則
カーブの手前で減速し、ブレーキはあわてずソフトに急ブレーキはスピンする
- 緩いカーブも注意
油断しやすい

カーブ事故の実態

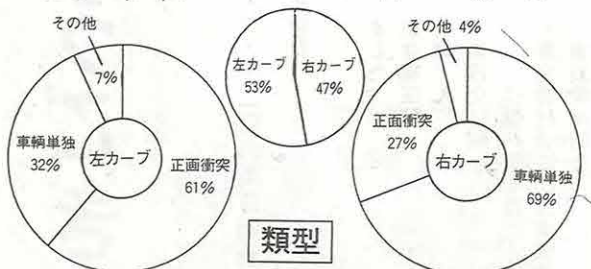
●左カーブ●

対向車線はみ出しが多い



●右カーブ●

路外とび出しが多い



類型

シートベルトは必ず着用しましょう



シートベルトの着用は万一事故に遭った場合、ハンドルやダッシュボード、フロントガラスなどに頭や胸を打つなどの被害を軽くする効果ばかりでなく、運転姿勢が正しくなり「疲労減少」にも効果があります。運転者はもちろん、同乗者も正しく着用しましょう。

街頭啓発で安全運転呼びかけ

各地で交通事故が多発している中、事故防止を願う街頭啓発が行われました。

九月十九日には、浜佐呂間公民館前(国道二三八号線)で、浜佐呂間保育所年長組の児童十四名が参加して「写真左」「気をつけて運転してください」とパンフレットを配付、また九月二十九日は安全協会若佐分会により旧公民館前(国道三三三三号線)で「写真下」牛乳とパンフレットを配付したあと、パレードにより交通安全の周知を図りました。



た。
両国道とも最近交通量が多くなりトラックなどの大型車が増えてきており、それぞれ行きかうドライバーたちに安全運転を呼びかけました。



議会のうづき

第三回定例町議会が九月十一・十二日の両日開会され
条例や予算などが議決されました。

条例

●佐呂間町過疎地域活性化計画
(平成二年から平成六年)ま
での事業計画が策定されまし
た。

●佐呂間町在宅老人デイ・サー
ビスセンター設置及び管理に
関する条例
社会文教委員会に付託されま
した。

予算

●平成二年度佐呂間町一般会計
予算が次のとおり補正されま
した。

三億二千二百九十一万七千円
が追加され、予算総額が五十二
億四千八百三十万一千円になり

ました。
主な補正額
(歳入)

・普通交付税

二億八千七百二十三万円

・農業農村活性化農業構造改善
事業費補助金

二千七百九十四万九千円

・公共育成牧場整備事業費補助
金

△二百二十八万六千円

・トカロチ船揚場整備事業費補
助金

七百三十万円

・佐呂間町公共施設管理公社業
務委託料戻入金

四百十四万八千円

・佐呂間公営三号道路改良工事
費債

九百二十万円

(歳出)

・減債基金積立金

二億一千七十二万円

行政報告

(要旨)

姉妹都市

交流について

本町とアメリカ合衆国バーマ
市との姉妹都市提携十周年に当
り、両市町において記念行事が
行われそれぞれ両市町長を中心
とする代表団による相互訪問を
行い、記念行事に参加して広く
交流を深め友好・親善に努めて
まいりました。

まず、バーマ市訪問の経過で
すけれども、私を始め議長、総
務課長、佐呂間高校教頭、生徒
代表、ハムクラブ代表外、総勢
十四名で七月二十七日から八月
七日の間バーマ市を訪問しホー
ムステイをしながら産業、行政
観光視察を行い十周年記念式典
を始め、新たに姉妹校提携の調
印を行いました。

次にバーマ市訪問団の来町と
記念式典の件ですが、ジョージ
カーテ市長外三名の訪問団は七
月二十五日来日され、札幌市で
知事とアメリカ総領事を表敬訪
問したあと本町を訪れました。

二十八日町内各事業所を表敬
訪問し、翌二十九日は網走支庁
長及び教育局長を表敬訪問しま
した。

姉妹都市提携十周年記念式典
は、三十日町民センターにおい
て町内関係者各位の出席のもと
開催され、功績のありました船
木町町長外二名の方に感謝状を
贈呈しております。また午前中
には、佐呂間高校とバーマ高校
との姉妹校提携に調印され、両
高校の親密なる交流発展の誓い
が全校生徒の前で行われました
カーテ市長一行は、八月二日
までにすべての日程を予定どお
り終了され三日午前女満別空港
より帰国されました。

●カーラの英会話

教室について

バーマ市との交流事業の一環
として招へいしましたカーラ・
ウィリアムスさんについては、
六月一日来日され八月二十一日
までの間本町に滞在し、その間
開かれた英会話教室には、一般
児童合わせて三十二回総勢五百
九十一人が受講しています。
また、中高校生の授業にも出席
するなど色々の町内行事にも参
加され、多くの町民と交流を深
め帰国しました。

●企業訪問について

本町内で昭和六十三年からス
タッドレスタイヤのテストを行
っています。大阪の東洋ゴム工
業(株)本社を訪問し、松原取締役
等幹部職員と面談し今期のテス
トと今後永続的なテストコース
について前向きに検討くださる
よう要請いたしました。

また、冬期イベントとして定
着しつつある、サロマ湖ATV
氷上レースに協賛しているヤマ
ハ発動機(株)の静岡県本社へ伺い
野村取締役とお会いして氷上A
TV大会への積極的な協力をお
願いたしました。

●ウロ処理対策の

状況について

明年度事業開始を予定してい
ます。ホタテウロ処理施設の建
設について、現在佐呂間、湧別
常呂の三町、三漁協、三加工協
で準備委員会を設け検討を進め
ております。

●オホーツク

サロマ湖観光

物産展について

八月十一日から二十六日まで
の十六日間、東京都港区の東京タ
ワー四階売り場において、湧別

・農業農村活性化農業構造改善事業費補助金

四千二百四十七万一千円

・トカロチ船揚場整備事業費補助金

一千四百八十万円

・佐呂間公営三号道路改良工事

一千百十万円

・若里小学校備品購入費

一千五百二十万四千円

同意

●教育委員の任命につき同意を
求めることについて

本町の教育委員として、次の
方の任命について議会の同意が
ありました。

・佐呂間町字浜佐呂間

杉谷 一茂(五十七歳)

町、常呂町の協力を得てサロマ湖三町の商工会による観光物産展を実施してきました。十一日のオープンセレモニーには、山田港区々長さんを始め各関係者が出席して行われ、サロマ湖の物産展、特産品の販売、観光宣伝を行ってきました。

●第四種佐呂間湖

漁港整備事業

起工式について

七月二十七日湧別町三里浜において、武部政務次官を始め開発局、水産庁、北海道土木現業所、常呂、湧別、佐呂間の三町の関係者多数参加して、サロマ湖漁港整備事業の起工式が挙行され、サロマ湖旧湖口の漁港整備が実施されることになり、三町漁民の大きな期待をよせているところであります。

●農業技術センター

用水の試掘結果について

農業技術センター及び家畜市場用飲用水として、地下水の試掘調査を行った結果、飲用水としての利用は不適であり水量的にもあまり多くは望めませんので、将来農業技術センター用水として利用することを検討し、

家畜市場及び共済組合家畜診療所用飲用水については、佐呂間簡水を利用することとし、今後このような方向で事業を進めて参りたいと考えています。

●佐呂間高等学校の

学級数減について

道教委による公立高等学校適正配置について、平成三年計画概要が公表されました。

佐呂間高校の学級数が明春の入学から一学級減となり二間口になると言われていますが、現状は百三十五名の定員に対し九十五名が在学しており、四十名の定員割れとなっており、さらに今後の中卒減少の傾向を推移したうえで判断と思われるが、何としてもこの間口減について、現状維持を道教委に要請していきたいと思えます。

●土曜閉庁の

実施について

町行政機関の土曜閉庁について、住民周知等行ったうえで九月二日から役場本庁舎を始め、各公共施設において土曜日の閉庁を実施いたしました。

第一回目が八日の土曜日から始まりましたが、当分の間来町

された方等のために窓口、電話対応を管理職が在庁対応することとして、住民に周知徹底を計りご理解を得よう努めたいと考えています。

●農作物の作況

状況について

九月三日の豪雨災害について降り始めから七十六ミリの雨量が記録され、共立、啓生、知来、仁倉地区で畑等の冠水が見られ、冠水面積が二三・二ヘクタールで牧草、デントコーン、ビート、カボチャ、小豆等に被害が出ています。また、仁倉では畑地決壊が一カ所、二十アール程度が流失いたしました。なお、道路、橋梁等の公共施設等には被害はありません。

次に八月三十日末の作況ですが、水稲は不稔粒が少なく良、馬鈴薯はやや良ですが、今日までの多雨のため、かなり腐っているのではないかと心配されています。また甜菜もやや良となっていますが、雨による糖分低下が心配されています。カボチャ・スイートコーンは平年並、飼料作物は平年からやや良となっています。

●公共事業の進捗状況について

国及び道公共事業もその多くが発注され、事業も順調に進められており、町発注事業も総計画事業費の約八十六パーセントが発注され順調に進められています。道路関係の舗装工事は完成したところもあり、また若里小学校も概ね三十%、総合公園公営住宅は五十%程度の進捗状況で他の事業も予定どおり進められています。

●サロマス養殖の

へい死について

八月二十三日の豪雨と落雷というアクシデントにより、大量の泥水が養殖池に流入し親魚などがへい死し、約五、六十万円の被害を生じたのでご報告申し上げます。今後このような事態が生じない様充分配慮して参りたいと存じます。

国民年金相談コーナーを

ご利用ください

国民年金のしくみを、みなさんにより一層理解していただくため、十月を「国民年金制度推進月間」として、普及推進運動を展開することにより、国民年金に加入していない方や、加入している方も保険料を未納のままにしている方、また保険料を納めているが、どのようなときに、どんな年金が、いくら受けられるかなど疑問を持っている方も大勢おられると思います。

国民年金に加入していない方や加入している方も保険料を未納のままにしている方、また保険料を納めているが、どのようなときに、どんな年金が、いくら受けられるかなど疑問を持っている方も大勢おられると思います。

国民年金



そこで、国民年金制度に対する理解を深めていただくため、役場年金係では国民年金相談コーナーを開設し、皆さんからの相談をお待ちしております。

日頃、年金のことではわからないことや疑問に思っていること

などを、お気軽に相談してください。

国民年金に
みんなで加入を！

高齢化社会の到来をひかえ、まさに「年金時代」といわれるほど年金は重要不可欠なものになってきています。

誰でもいつかは訪れる老後の生活設計を、年金でしっかりと立てることが必要です。

昭和六十一年四月から国民年金制度は、自営業者ばかりでなく、サラリーマンや、その配偶者にも拡大し、共通の基礎年金を支給する制度に変わりました。

年金で明るく豊かな老後の生活を送るためには、まず国民年金に加入しなければなりません。厚生年金、共済組合に加入している人を除き、二〇歳以上六〇歳未満の人は必ず加入の手続きをしましょう。

国民年金の被保険者は3種類に

第1号被保険者



農業・自営業者などの
日本国内に住んでいる
20歳以上60歳未満の人

第2号被保険者



民間のサ
ラリーマンや公務員

第3号被保険者



民間
サラリーマンの
奥さんや公務員
の奥さん

基礎年金は3種類



国保一口メモ

退職者医療制度

について

国保の被保険者で、厚生年金保険や共済組合などから老齢（退職）年金を受けている人、または、これらの加入期間が二十年以上、あるいは四十歳を過ぎたから、これらの年金加入期間が十年以上の通算老齢（退職）年金を受けている人が対象となり、七十歳になって老人保健に移るまで、退職者医療制度で国

保の被保険者として診察を受けます。

退職者医療制度の自己負担は退職者医療制度で診療を受ける場合、病院で支払う自己負担額は退職被保険者本人は二割、扶養家族は外来が三割、入院が二割となります。

退職者医療制度に加入するには年金証書が届いたら、十四日以内に年金証書、印鑑、保険証を持参の上、役場民生課保険係に届出てください。

軽自動車等の

廃車・譲渡申告届出について

軽自動車税については、四月一日現在で所有されている原動機付自転車、農耕作業用小型特殊（トラクター等）、軽二輪、軽四輪等課税していますが現在台帳に記載している中で年式の古い車輛が見受けられます。

毎年四月一日現在で、廃車ま

たは譲渡していても届出がありませんと、課税することとなりますので、廃車・譲渡申告手続きは早めにされますようお願いいたします。

詳しくは、財政課資産税係（二二三三二一）まで

パーマ市訪問の思い出

パーマ市との姉妹都市提携十周年記念行事に参加するため、七月二十七日から八月八日までの十三日間、町長を始め十四名がパーマ市を訪問しました。

ホームステイをしながら交流を深めて来た高校生から感想文がよせられましたので、その一部を紹介します。

佐呂間高校三年

横山満代

私は、夏休みの七月二十七日から八月八日までの十三日間を「佐呂間町・パーマ市姉妹都市提携十周年友好訪問団」に同行して来ました。

長年夢見ていたこの旅行に、十周年記念式典や佐呂間高・パーマ高両校の姉妹校提携調印式などの行事に参加できて本当に充実した日々を過ごすことができました。

パーマ市での生活は、十一日間の短い期間でしたが、色々なところを見に行くことができ、見るものすべてがめずらしく、その中でも百万年前のボーテージ氷河はとても寒かったけれどもまるで幻想を見ているかのように美しかったのが印象に残っています。

また、山がすぐ近くにあるように見えるくらい壮大にそび



え、家の前には沢山の花が飾られていてとても和やかなイメージを受けるなど、パーマ市全部の風景が私は大好きになりました。その風景と同じように、パーマ市長さんを初め皆さんが優しく親切で、親しみのある人達ばかりでした。

歓迎パーティーでも色々な人達が気軽に声を掛けてくれて、慣れない英語に戸惑いながらも辞書で調べたり、身ぶり手ぶりで時間はかかりましたが、話せ

たことがうれしく思いました。

私がホームステイをした家には、同じ年のクリスティナという子がいて色々なことを教わりました。一緒に辞書を調べながら話をしたり、パーマ市のことについても沢山教わりました。

でも、日本の習慣や感覚と少し違うところがあって、何度か意見の食い違いでお互いイライラして困った時もありましたが、今考えると何もかもよい思い出です。でも、ストリートに自分の意見を誰にでも言うことができることは、驚くところもありますが、反面うらやましくも思えました。

短い期間でしたが、この旅行に参加することができて色々な経験ができました。今回、佐呂間高校が姉妹校提携を行ったので、これからは交換留学生制度なども作り、もっと沢山の人がパーマ市に行つてほしいと思います。私ももっと英語を勉強し話せるようになってから、今度は留学をしたいと思っています。

また、この旅行と一緒に参加されました町長夫妻を初め、十三人の方々、通訳の方々には大へんお世話になり心から感謝しています。また皆さんと旅行に行きたいと願っています。

佐呂間高校三年 春 菜 久美子

私は七月二十七日から八月八日までの十三日間、パーマ市友好訪問に参加しました。興味を持ち夢にまで見た外国、今まで遠い存在であった外国が身近なものになるということが、とても信じられませんでした。

初日、パーマ市ではきちんと過ごせるかという不安と飛行機が墜落しないだろうかという不安が入り交つて、あまり落着いていられませんでした。そのような気持ちのままアンカレッジに着きましたが、その日は冬に近いくらい寒い日本との違いを肌で感じました。

パーマ市で過ごした十三日間の中で印象的だったことは、姉妹校提携調印式の日のことです。前日から風邪をひいてしまい、高熱を出し周りの方々に迷惑をかけてしまい、特に町長さんにはわざわざ特別な薬を買っていただいたことです。そのおかげですっかり楽になりました。

また、ピクニックをしたこと氷河を見たこと乗馬をしたこと全部がいい思い出ばかりです。特に氷河は、見に行った人でないとあの感動を味わうことはできないと思います。夜には映画



や食事に行ったりして皆など行動できたことが、一番交流が深まったのではないかと思います。この友好訪問に参加した中で特に心に残っていることは、沢山の人の人に出会ったことです。パーマ市長さんを初めパーマ市の人たちは、明るくて楽しく純粋な心を持った人ばかりでした。私がホームステイしていたヒルさんのお母さんは、私が風邪をひいたり何かあった時にはいつも強く抱きしめてくれて、安心させてくれました。また大人の人達も子供達を大人と同等の立場で見えてあまり干渉しないのが、子供達には自由でそれなりにはしゃいでいて、そういうところが日本人と違い、人々とのコミュニケーションも素晴らしいことだと思いました。ほんとにパーマの印象がよくまた必ず行きたいと思います。

いつまでもお元気で

各地区敬老会

九月十五日の敬老の日、町内各地で自治会主催による敬老会が開催され、出席したお年寄たちは地元婦人会の人たちのおもて成しや、小学生たちによる歌や踊りに楽しい一日を過ごしました。

この日の対象者は八百四名（若佐・佐呂間市街・浜佐呂間・富武士・若里・特別養護老人ホーム）で、米寿を迎えた六名と金婚式を迎えた二十四組の夫婦にそれぞれ記念品とお祝状が渡されました。

また、十八日には網走支庁西

山地方部長が来町し町長と、大成の青野佐吉さん（百二歳）と共立の縄しのかさん（百歳）宅を訪問しお二人に「これから長生きしてください」とお祝が贈られました。

男性の最高齢者

大成 青野 佐吉さん



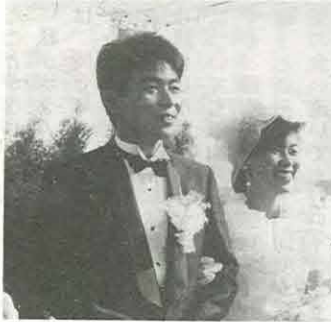
女性の最高齢者

共立 縄 しのかさん



牧草畑に輝く二人

浜佐呂間の増子雅敏さん優子さんの結婚祝賀会が、九月八日自宅の牧草畑で行われ、一風変わった結婚パーティーとなりました。



ばん馬競争大会

九月二十六日、家畜市場において第二十二回佐呂間ばん馬競走大会が行われました。

大会には道内各地から六十五頭が参加し、どの馬も飼主が丹精込めて育てた自慢とあって迫力のある馬ばかり揃いました。レースは一周五百メートル程のコースに二ヶ所の障害が設けられており、一つ目は簡単に乗り切れるものの、二つ目になるとなかなか乗り切ることができず、人と馬の呼吸で勝負が決ま



るといったレース展開になりましたが、どのレースも人馬一体となった白熱したレースが繰り広げられました。

のロール・テーブルはコンテナお祝いに駆けつけた人たちはジンズやつなぎなどといかにも大自然の中での手作りの祝賀会でした。



祝賀会当日は、心配された天気も二人を祝福するかのように晴れわたり、会場の舞台は牧草

なぜ野外で行なったかという

と、札幌市で開催された「赤れんが音楽祭」（名誉会長 横路知事）のイベントの中で、道庁赤れんが庁舎前で知事立会のもと結婚式が上げられるというコーナーに応募したところ、全道で三組の中に選ばれ七月二十九日に挙式が行なわれたもので、それなら祝賀会の雰囲気も変わったものにしようということで野外でのパーティーとなったわけ

熱いパワーで

燃えた二日間

シンデレラ夢90

九月一日、二日の両日町民センター前広場をメイン会場に、「シンデレラ夢90」が行われました。

祭初日は、夕方の花火を合図に仮装パレードが始まり、家族団体七十二組、約千百名が思い思いに仮装し、山車を中心にメインストリートを練り歩きました。パレード終了後、メイン会場では花火大会やパフ・フアミリーコンサートに来場者たちは、夜遅くまでにぎわいを見

せていました。

また、パーマ市長をはじめパーマ市からの来町者もパレードに参加しサロマの思い出として楽しんでいました。

二日目は、前夜に続いてのコンサートのと、各自が育てたカボチャの重量を競う「パンプキンコンテスト」が行われ、声別市から出品した一〇一・八キロが最高でした。

また、「カボチャの皮むき競争」や平均台を使いタイムを競う「タッチ・ザ・イエローハート」のゲームには、大人から子どもまで大いに楽しみました。

祭の最後を飾る「ミセス・シンデレラコンテスト」には十九名がエントリーし、それぞれ个性的で、中には奇抜な衣装で登場する人もあり、会場からはどつと笑いや歓声が上っていました。



お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

特別養護老人ホーム 看護婦募集

特別養護老人ホーム「愛の園」では、次により看護婦の募集を行います。

募集人員 一名
年 令 五十歳未満
応募資格 看護婦又は准看護婦免許を有する方
待遇 佐呂間町職員に準ずる。給与その他については面談の上きめまします。

申込期限 十月二十五日まで
受付問合先 役場総務課（二二一三三一一）及び特別養護老人ホーム愛の園（二二一三〇七六）

運転免許証 更新講習会

▽日時 十一月五日（月）
午後六時から

▽場所 町民センター集會室
※講習は、有効期限（誕生日）の一年前から受講できます。

更新手続きは、有効期限の一月前からできます。受講される方は、免許証、筆記用具をご持参ください。

なお、更新講習会の会場で交通安全協会佐呂間支部の協力費（千円）を集めさせていただきます。

（交通安全協会佐呂間支部）

“出稼ぎ”に出かける 前に加入を

道では、出稼ぎされる方々が安心して働けるように、出稼ぎ中の傷害に対する共済制度を設けています。

ご家族の生活を守るためにも出稼ぎに行かれる前に加入しましょう。

一、加入できる方。

道内に居住し、季節により居住地を離れて働く方（事業所の都合で自宅から通勤する方なども含みます。）

二、加入期間
働く期間に応じ、一か月から十二か月まで自由によびます

三、保険金額
五十万円から三百万円まで五十万円ごとに六種類あります。

四、保険料（掛け金）
月額三百五十円（保険金額五十万円）から月額二千五百円（保険金額三百万円）まで。

なお、加入者の負担を軽減するため保険料の一部を道で補助しています。

五、保険料の種類
死亡・医療（入院・通院）後遺障害保険金

※詳しくは、役場産業課商工観光係二二一三三一一まで問い合わせてください。

高等技術専門学院 学生募集

網走管内の各道立高等技術専門学院（北見・網走・遠軽）では、平成三年度の学生を次のとおり募集しています。

一、科目と募集人員
別表のとおり

二、願書受付期間
新規高卒者 十一月一日～

十一月末日
・新規中卒者 十二月一日～
・離転職者 十二月一日～
十一月末日

三、手続きの方法

・新規学卒者は、入学願書に内申書と身体検査書を添えて直接技術専門学院へ提出してください。

・離転職者は、入学願書に内申書（学卒後三年以上は不要）と身体検査書を添えて最寄りの職業安定所へ提出してください。

・入学願書は、技術専門学院または、職業安定所にあります。

四、選考の方法
・職業適正検査・面接・学科試験（国語・数学）を行います。

五、選考の月日

・高卒者 平成二年 十二月十日（月）
・中卒者 平成三年 一月八日（金）

・離転職者 随時実施します
※詳しくは、各学院に問い合わせください。

北海道立北見高等技術専門学院
二〇一五七二四一八〇二四
北海道立網走高等技術専門学院
二〇一五二一四三三三七一
北海道立遠軽高等技術専門学院
二〇一五八四二一三二四六

学院名	科目	入学資格	定員
見	建築製図科 自動車整備科（二年生） 電気工事科 機械科 木工科 建築科 ブロック建築科	高卒者以上 〃 〃 〃 〃 〃 〃	三十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名
北	建築製図科 自動車整備科（二年生） 電気工事科 機械科 木工科 建築科 ブロック建築科	高卒者及び中卒者以上 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名
網走	建築製図科 自動車整備科（二年生） 電気工事科 機械科 木工科 建築科 ブロック建築科	高卒者及び中卒者以上 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名
遠軽	建築製図科 自動車整備科（二年生） 電気工事科 機械科 木工科 建築科 ブロック建築科	高卒者及び中卒者以上 〃 〃 〃 〃 〃 〃	二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名 二十名

家庭から始めよう ゴミのダイエツト

※わたしたち一人一人がごみの減量を

昭和六十三年度に日本全国で出されているごみの量は、年間およそ四千八百二十八万トンにのぼっています。これは、東京ドームの約百三十杯に相当します。

佐呂間町における年間搬出量は、三千九百四十二トンとなっており年々増えています。

ごみの量が増え続けることは処理費用も増え地方財政を圧迫します。私たち一人一人が一日に捨てるごみを百グラム減らしたら年間四百六十四万トンの減量となり、処理費用も節約となります。

※資源ごみの再利用は地球の資源を守る

紙類は、再利用のできる資源です。不用になった新聞や雑誌は再生紙として利用され同じように新聞や雑誌・ダンボールに生まれ変わります。例えば、家庭で新聞一年分（七十キログラム）をゴミ処理した場合、

千六百円の費用がかかります。しかし、古紙として再利用すると一本半の立木（直径二十センチ高さ八メートル）を切らずにすみ、地球の緑を守ることにもなります。

資源ごみはこう再利用される

紙類 不用になった新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙は、再びパルプとして利用することができます。古紙パルプは新しく紙をつくる原料となり、再生紙として生まれ変わります。紙は木からつくられますから、古紙を再利用することは、地球の限られた資源を守ることにもつながります。

●リサイクルでこんなものに...



往 路				復 路			
主な停留所	第1便	第2便	第3便	主な停留所	第1便	第2便	第3便
佐 呂 間	6:30	12:45	16:30	浜佐呂間駅前	7:10	13:35	17:20
天 光 堂 前	6:30	12:45	16:30	汐 見 町	7:12	13:37	17:22
中 学 校 前	6:31	12:46	16:31	六 線 入 口	7:13	13:38	17:23
高 校 前	6:32	12:47	16:32	四 線	7:15	13:40	17:25
北 会 館 前	6:35	12:50	16:35	幌 岩 学 校 前	7:17	13:42	17:27
長 屋 前	6:37	12:52	16:37	工 藤 前	7:20	13:45	17:30
報 徳	6:40	12:55	16:40	西 二 線 入 口	7:22	13:47	17:32
農 協 支 所	6:45	13:00	16:45	国 民 宿 舎 前	7:28	13:53	17:38
四 号 線	6:46	13:01	16:46	ト カ ロ チ 浜	7:35		
共 和 団 地	6:48	13:03	16:48	富 武 士 浜	7:40	13:55	17:40
ト カ ロ チ 浜		13:10	16:55	共 和 団 地	7:42	13:57	17:42
富 武 士 浜	6:50	13:15	17:00	四 号 線	7:44	13:59	17:44
国 民 宿 舎 前	6:50	13:17	17:02	農 協 支 所	7:45	14:00	17:45
西 二 線 入 口	6:58	13:23	17:08	報 徳	7:50	14:05	17:50
工 藤 前	7:00	13:25	17:10	長 屋 前	7:53	14:08	17:53
幌 岩 学 校 前	7:03	13:28	17:13	北 会 館 前	7:55	14:10	17:55
四 線	7:05	13:30	17:15	高 校 前	7:58	14:13	17:58
六 線 入 口	7:07	13:32	17:17	中 学 校 前	7:59	14:14	17:59
汐 見 町	7:08	13:33	17:18	天 光 堂 前	7:59	14:14	17:59
浜佐呂間駅前	7:10	13:35	17:20	佐 呂 間	8:00	14:15	18:00

町営バスが冬期ダイヤに変わります

十一月一日～四月三十日

役場人事

新採用

教育委員会社会教育課社会体育係 主事 山崎 進哉

十月一日付

町政日誌

10月 富武士・若里保育所児童健康審査
17日 栄・若佐保育所児童健康審査
全町老人研修会・スポーツ大会
仁倉小学校公開研究会
佐呂間小学校公開研究会
第12回遠軽ブロック身体障害者福祉協会研修会
30日 町PTA連合会懇談会



社会教育だより

札幌交響楽団サロマ公演決定

十一月二十四日 町体育館にて

文化の秋のビッグなプレゼン
ト。札幌交響楽団のフルメンバ
ーによる地元でのコンサート開
催が決定しました。

・アンダンテ・カンタービレ
・シベリウス
・交響詩 フィンランディア
指揮者 田中良和
(昭33年京都生れ)

このコンサートは、佐呂間町
文化連盟が主催するもので、プ
ログラムも定期演奏会等に劣ら
ない素晴らしい内容です。この機
会に「生」の札幌の素晴らしい演
奏をお楽しみください。

期日 十一月二十四日(土)
時間 午後六時三十分開演
場所 佐呂間町体育館
演奏曲目(予定)
●モーツァルト

・歌劇フィガロの結婚、序曲
・バイオリン協奏曲
第五番K二一九

●チャイコフスキー
・組曲「白鳥の湖」から
情景、四羽の白鳥の踊り
チャルダッシュ

●ヨハン・シュトラウス
・皇帝円舞曲
●チャイコフスキー

十才からピアノをはじめ、
高校在学中より指揮を学ぶ。

76年東京芸術大指揮科入学
79年第十四回民音コンク
ール指揮の部第一位

80年三月東京芸大卒業
80年九月西ドイツ、ベルリ
ン音楽大学に留学
82年一月ルパート指揮コン
クールにて特別賞を受賞

同年三月ベルリン放送響を
指揮してベルリンデビュー。
その才能を高く評価された。

バイオリン独奏 渡辺 玲子
東京生まれ、三才からバイ
オリンをはじめる。

81年十五才で第五十回日本
音楽コンクール優勝
82年海外派遣コンクール第
一回「黒柳賞」受賞。

84年第三十五回ヴィオッテ
イ国際コンクール、バイオリ
ン部門第二位(第一位なし)
85年イタリア夏の音楽祭最
優秀者としてゴールドメダル

「アマレットドロウ賞」受賞
同年ジュリアード音楽院に
全額スカラシップを受け入学

86年第三十三回パガニーニ
国際コンクール第二位(第一
位なし)

90年ヨーロッパ各地でフイ
ルハーモニア管弦楽団と協演
※このコンサートについての問
合せは、老人福祉センター内
文化連盟事務局 小池まで

サロマン劇場

開催のお知らせ

町教育委員会主催で昨年から
実施しております「サロマン劇
場」を本年も開催します。

今回は劇団さっぽろ公演によ
る「夜明けのロッキンロール」
で、昨年実施した「まわせ水車
」の続編です。これらの作品は
北見市在住の松岡義和氏(北見
高栄中教諭)の原作で、人間の
生きざまを根底に演劇が展開し
て行きます。

中・高生には是非見て何かを
感じてもらい、また、より多く
の大人の方にも鑑賞願いたい

作品です。
「勉強はしたくないけどいい
仕事につきたいと思ってるあ
なた

働きたくはないけどお金は欲
しいと思ってるあなた
生きていくこと楽しいですか
いっぺんきりの人生、人は生
まれ育ちそして死ぬのです。

生命の誕生ノそして出会い
今、生きていくってことの意
味を考えてみませんか」

記

期日 十一月十日(土)
時間 開場 午後六時三十分
開演 午後七時

場所 佐呂間町体育館



前年の「まわせ水車」

入場料 無料(要敷物)

※ 入場整理券が必要ですが、左
記の場所でお受け取り下さい
教育委員会(役場内)、図書
館、町民センター、老人福祉セ
ンター、佐呂間コミセン、若佐
コミセン、浜佐呂間出張所

ホタテの

養殖を体験

今年の「自然観察体験学習」
としてホタテ養殖体験が九月十
五日、富武士浜で実施されまし
た。

当日は、三十四名の参加者が
漁組青年部の方々の指導のもと
稚貝の選別、カゴ詰めの後、実
際に船でサロマ湖に出て放流を
しました。

湖上では、ホタテの二年貝、
三年貝を見せてもらい、前回の
参加者は、大きく成長したホタ
テ貝に感心していました。

最後に、子ども達の質問に、
青年部の方々が答えていただ
いて、どのように養殖事業が行わ
れているかなどを学びました。
貴重な体験を終えた子ども達
が、ひとまわり大きく成長した
一日でした。



親子ふれあい農場

収穫祭終了

好天に恵まれた九月九日、本年度の親子ふれあい農場の収穫祭が、知来特設農場と町民センターにおいて行われ、春から育てた農作物が見事に成長し、実りの秋を満喫しました。



今年のふれあい農場は、五月二十六日の植えつけに始まり、七月九日の草取りと続き、栽培する作物もジャガイモ、カボチャ、スイートコーンの他にタマネギにも挑戦しました。当日は、農協青年部の方々から収穫作業の手順を教わり、今年初挑戦のタマネギも見事に成長しており、子ども達も大喜びでした。

収穫後は町民センターに戻り、芝生の上で試食会を行いました。

青年部の差し入れの牛乳と豚肉を利用して、シチューをつくりおいしい食べものと袋いっぱい収穫物をかかえて、楽しい一日を終えました。

宮沢賢治の世界終了

九月二十六日から十月四日まで町立図書館において宮沢賢治の作品をモチーフにした版画展が開催され、多くの賢治ファンが訪れました。

会場には函館の佐藤国男さん製作の「銀河鉄道の夜」「どんぐりと山猫」「注文の多い料理店」など五十六点の版画が所狭しと飾られ、幻想的な世界を醸し出していました。



また期間中の十月二日には「宮沢賢治の夕べ」と題し、賢治に精通している北見市立高栄中学校教諭松岡義和氏のユーモアをまじえた講演会とボランティア

アの朗読による「銀河鉄道の夜」の幻燈会があり、五十名の参加者は賢治についての見識を深めました。松岡先生は賢治のコレクションを持参し、「セロ弾きのゴーシュ」の直筆の原稿（複写）も参加者に回していただきました。

図書館では今後もこの様な企画を催したいと考えておりますので、ご意見、ご要望をお聞かせください。

さすが全道一 帯広南商業高校 ソフト指導

九月二十三日、佐呂間中学校グラウンドにおいて町内の成人、中学生約五十名が参加し、成人ソフトボール教室が開催されました。

今回指導をお願いし来町したのは、国体を含め全国大会出場



十数回、今秋の全道新人大会で優勝し、来春の全国大会出場を決めている帯広南商業高校女子ソフトボール部の監督、コーチ、選手二十四名。

ボールの握り方から始まり、キャッチボール、そしてバッティング、フィールドインングの基本的な技術、更にウインドミル型のピッチングモーションの指導

家庭教育テレホンサービス

さあ二二〇二〇へ

家庭教育における種々の問題について、毎週テーマを変えて「子育て三分間アドバイス」としてテレホンサービスを実施しています。

施しておりますので、あなたの都合のいい時間、知りたい内容の時に二二〇二〇にお気軽にダイヤルしてください。あなたのダイヤルをお待ちしています。

期日・時間	対象	内 容
10月15日 9:00 10月22日 8:30	中学生	・親や目上に対する態度 (1) 敬語を身につけさせる (2) 親や教師に対して (3) 他人や客に対する礼儀作法
10月22日 9:00 10月29日 8:30	〃	・「社会規範」について考えてみる (1) 社会規範の低下 (2) 指導の方法 (3) 子どもの接し方
10月29日 9:00 11月5日 8:30	〃	・「親子関係」について考える (1) 親のあたたかい心を求めている (2) 子どもとの接し方 (3) 子どものもち味、よさを見出す育て方
11月5日 9:00 11月13日 8:30	小学生	・「思いやりの心」について考える (1) 思いやりのある子どもとは (2) 何故思いやりのない子どもになるのか (3) 思いやりのある子どもを育てるためには
11月13日 9:00 11月19日 8:30	〃	・豊かな美しい心 (1) 動植物や自然に親しませる (2) 美しいものに触れさせる (3) あたたかい家庭の中で

対話の窓

対話の窓のコーナーに次のような意見が寄せられました。

広報に町長さんとの「対話の窓」のコーナーが設けられましたことは、町民として大変有難い事です。

私共、常に思っていたことを申し上げます。

母子家庭、寡婦家庭の者にも身体障害者の方々のように、交通費の一部負担をお願いできたらと思います。また母子家庭における高校通学のバス代についても、援助いただければ子育ての一番大変な時でもあり、どんなにか助かる事かと思えます。

●町長より

いま福祉の時代と呼ばれていますが、まだまだ充分な施策とは申しかねる状況にあるものと思っています。

先般も、精神薄弱者に對し身体障害者と同じように公共交通機関の割引き制度を行ってほしい旨の請願書が提出され、国や関係機関に對し、強く要望しているところでありますが、母子家庭や寡婦の方々にも福祉施策として、公共交通機関運賃割引制度を創設されるよう検討し、関係者と共に要望して参りたいと考えています。

町といたしましては、今年四月から高齢者福祉の一環として七十才以上の方に対し、通院や社会活動への参加のため町内に限りバスの無料券を発行しましたが、これが等しく母子家庭及び寡婦の方々にもとなりますとそれぞれの家庭の事情も異なり難しいところでありますのでその他の福祉政策の充実をもつて対応に努力して参りたいと思っています。

また、母子家庭における高校通学バス代の件であります、確かに生活費に及ぼす影響は大きいものと思われませんが、現状における母子家庭のケースは様

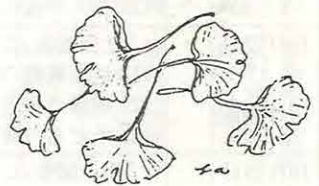
様であり、等しく援助することには大変難しいところであり、優秀な子供さんであり、向学心に燃え、生活環境が修学に困難な方のために国の育英資金や町独自の奨学金制度も実施しております。町の奨学金は月額高校生七千円、大学生一万八千円

であります。この制度は無利子であり、償還は社会人となって二年間据置いたあと四年間で償還することになっていきますので大いに活用していただきたいと思っています。

私も十二才で父親を失い、六人兄弟の母子家庭に育ち、高校大学と奨学金制度には大変お世話になった者の一人であり

「対話の窓」のコーナーでは皆様方からの楽しいお話しや、町政に対する意見等をお待ちしております。

寿大学俳句講座 作品集



・鳥の声緑滴る平和の世
栃木 鈴木 ノブ

・過ぎたるやれんげつつじの花下り
共立 山口 義夫

・傘さして池畔めぐりや金閣寺
富士 船木 道

・寺詣お盆供養も気にかかり
富士 大沢キメコ

・入梅や霧雨の中家畜祭
北 安斉 守

・春浅し鳴門海峡逆巻ける
富丘 片山 キヨ

・亡き姉を恋えば今年も鉄線花
仁倉 広瀬ミトリ

今月の納税は ~10月31日~

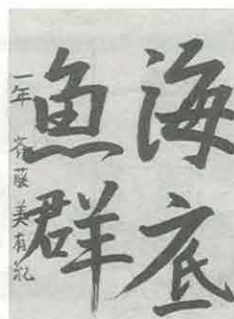
町道民税(3期)
固定資産税(3期) です
国民年金保険料(毎月)

忘れずに納めましょう

11月の
土曜閉庁の日
11月10日・24日
です。

ぼくとわたしの作品

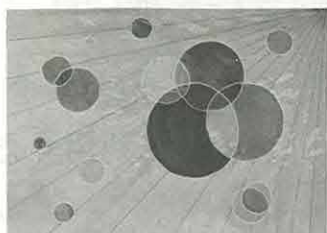
今月は浜佐呂間中学校のお友だちの作品を紹介します。



一年 斉藤美有紀
バランスよくまとまり、丁寧
に書いています。



一年 真如 彩香
筆の流れがよく表現されてい
ます。名前も上手です。



二年 岩館あゆみ
円を不規則に配置し背景に放
射線を入れたことによって動き
と広がり表現しています。



二年 佐々木孝弘
学校から見える風景を遠近感
に留意して表現しています。

ベビーフェイス



知来 早坂 晋一さん
厚子さん

長女 真衣 ちゃん
平成元年四月十四日生

私、早坂家の元氣っ子おし
やま娘の真衣です。

こんにちは。

小さい時は「ぼく」に間違
われたけど、今ではすっかり
お嬢様(?)に大変身ノ歩け
るようになってからの私は毎
日大忙し。あっちへ行、こっ
ちへ来たりいたずらばかりし
ています。

ミッキーとアンパンマン、
それにじやじやまるが大好き
で、毎日元氣一杯遊んでいま
す。この頃は、お風呂に入っ

て遊ぶのが一番のお気に入り
です。

今よりも、もっともつとア
ンヨやおしやべりが上手にな
りたいから、たくさんご飯を
食べて早く大きくなるんだ。



交 差 点

▶平成2年度交通事故発生状況(8月末現在)

発生件数	18	(15)
死者数	1	(1)
負傷者数	17	(14)

()内昨年同期

▶交通事故死ゼロ300日目標

達成日 平成3年7月24日

▶平成元年度交通安全標語入選作品

- ・落とせ 落とせ スピード落とせカーブだよ
(浜佐呂間小学校 毛内 一貴)
- ・事故防ぐ スピードダウンと安全運転
(仁倉小学校 佐藤 純平)
- ・交通ルール 守って安心 みんなの命
(幌岩中学校 根本 広和)



町民割引実施中

札幌・東京・大阪へのお出かけは
オホーツク紋別空港をご利用ください。

「紋別←→丘珠」
「紋別←→千歳」

1日4便就航で便利になりました。

＝11月の時刻表＝

紋別発11:30→千歳着12:35
" 14:35→丘珠着15:30

千歳発13:10→紋別着14:10
丘珠発10:10→ " 11:00

オホーツク紋別空港整備促進期成会

ご寄付

ありがとうございます

- 香典返しを廃して
●社会福祉協議会へ
(亡妻 キクエさん)
浜佐呂間 佐藤 昌策さん
(亡夫 誼守さん)
武士 徳永歌代子さん
(亡父 利夫さん)
仁倉 郡 昭雄さん
●幌岩老人クラブへ
(亡父 平六さん)
幌岩 飯沢 光雄さん
●浜佐呂間老人クラブへ
(亡妻 キクエさん)
浜佐呂間 佐藤 昌策さん
●武士老人クラブへ
(亡夫 誼守さん)
武士 徳永歌代子さん
(亡父 利夫さん)
仁倉 郡 昭雄さん

- 富武士小学校へ
(亡妻 満子さん)
富武士 沖 尚八郎さん
●全快祝を廃して
●富武士老人クラブへ
富武士 岩本 正さん
●その他
●社会福祉協議会へ
新篠津村 松田 クニさん
●若佐保育所母の会へ
若佐地区老人クラブ
●特別養護老人ホームへ
(寄付)
幌岩 飯沢 光雄さん
若里 鈴木 佳子さん
美幌町 大谷 恒芳さん
湧別町 山下登喜男さん
(寄贈)
若里 斉藤 松二さん
若佐 藪 正俊さん
知来 石井小五郎さん
永代町 伊藤 ユキさん
若里 鈴木 佳子さん
親子 越田 昭子さん
札幌市 富美社中
藤間 淑

私たちのまち

(前月比)
人口 8,015 (-9)
男 3,867 (-7)
女 4,148 (-2)
世帯数 2,564 (-3)
8月31日現在

- 町立図書館へ
西富 徳永 良行さん
北 初貝 直一さん
栄 小 学 校
網走市 菊地 慶一さん
上湧別町 田隈 佳寿さん
興部町 立 図書館
根室市博物館開設準備室
札幌市 北海道ナショナル・
トラスト運動推進連絡会議
東京都 日本電信電話(株)
三重県 西口 和之さん